

JCHO 可児とうのう病院の「いま」を伝える

はとぶき

hatobuki
vol.28
2019 AUGUST



特集 輸血をより安全に行うために

「I&A制度」の認定を受けました

ニュース&トピックスVOL.26

医療連携ひろば | 医療連携Drスマイルリレー 濃飛ファミリークリニック/小林クリニック

健康ナビVOL.17 | じぶんの骨の強さを知っていますか? 定期的な骨密度測定のススめ

四季の健康 | ほうれん草と人参の和風テリーヌ

はとぶき
第28号
〈発行〉JCHO可児とうのう病院

〒509-0206

岐阜県可児市土田1-2-1 番地5

TEL 0574-253113

FAX 0574-254657

外来診療担当表

令和元年8月1日現在

診療科		月	火	水	木	金
内科	総合	交替制	交替制	交替制	交替制	交替制
	2診 (消化器)	佐藤 淳一	清水 達治	印藤 敏彦	清水 達治	印藤 敏彦
	3診		岩田 敬和	山田 清康		増富 智弘
	4診 (循環器)	横内 一彦	山田 清康	林 尋之	鈴木 淳也	横内 一彦
	5診 (呼吸器)		井上 正英		磯部 好孝	
	6診 (神経内科)	井口 洋平	小野寺 一成		小池 春樹	横井 聡
	7診 (血液)	吉田 均	伊藤 貴彦	吉田 均	池野 世新	
	8診(糖尿病・内分泌)	池庭 誠	代 務	安藤 敏仁	高槻 健介	林 優佑
外科	1 診			瀬古 浩		児玉 章朗 (血管外科)
	2 診	池山 隆	池山 隆	池山 隆	池山 隆	池山 隆
	3 診		岸田 喜彦		第1-5週 門松 由佳 第3週 後藤 真輝 (呼吸器外科)	岸田 喜彦
	形成外科(予約制)		2-4週 14:00~ 中村 優			
	小児外科(予約制)		14:00~ 岸田 喜彦			
整形外科	1 診	交替制	藤田 明子	竹本 元大	世木 直喜	金子 慎哉
	2 診	中野 健二	岩月 克之 (手外科)		中野 健二	
	3 診	小清水 宏行 (脊椎)	鈴木 望人 (リウマチ)	幸島 寛		幸島 寛
	午 後					4週 14:00~16:00 川崎 雅史(股関節)
泌尿器科	1 診	青木 重之	山田 芳彰	青木 重之	原 浩司	1-3-4-5週 山田 芳彰 2週 原 浩司
	2 診	森永 慎吾	原 浩司			
小児科	1 診	金山 恵子	西川 英里	月館 幸一	浅田 英之	金山 恵子
	専門外来(午後 予約制)			1週(小児循環器) 長谷川 誠一		2-4週(神経) 牧 祐輝
耳鼻咽喉科	1 診	平野 光芳	平野 光芳	平野 光芳	平野 光芳	平野 光芳
	2 診	櫻井 一生			田邊 陽介	
婦人科	1 診	片山 宣	村岡 彩子	眞鍋 てるみ	伊藤 由美子	片山 宣
皮膚科	1 診	佐竹 史章	佐竹 史章	佐竹 史章	佐竹 史章	交替制 (完全予約制)
脳神経外科	1 診			真宮 崇		
眼科	1 診	加藤 彩	加藤 彩	加藤 彩	(受付10:30まで) 土井 浩史	加藤 彩

| 外来受付時間 8:30~11:30 | 休診日 土・日・祝日・年末年始 |

輸血をより安全に行うために

「I&A制度」の 認定を受けました



hatobuki



適切な輸血管理が行われているかを第三者によって点検し、安全を保証する「I&A制度（輸血機能評価認定）」の認定を2019年6月に受けました。プロジェクトの核となった「輸血療法委員会」のメンバーに、JCHO可児とうのう病院の輸血管理について語ってもらいました。

JCHO可児とうのう病院 市民公開講座

可児市「～ぜひ知ってほしい～ 今を生きる心」事業 可児市・可児医師会共催

定員
300名
全席自由

入場無料
予約不要

～脳卒中や認知症の最新医療～

脳
を守る
活かす

日時

2019

9/14 土

14:00～15:30

(開場13:00)

場所

可児市文化創造センター
ala(アーラ)小劇場 虹のホール

テーマ

脳を守る・活かす
～脳卒中や認知症の最新医療～

講師

若林俊彦氏
名古屋大学大学院医学系研究科
脳神経外科学教授

同時開催 13:00～13:45(小劇場ホワイエ)

○健康チェック【無料】

①血管年齢 ②肺年齢 ③毛細血管観察

※開演前の時間において、上記の中から希望される検査を

1つ選択して、先着順にお受けいただけます。

※1つの検査の所要時間は5分程度になります。

※検査受付は開演15分前に締切となります。

(イベント協力：岐阜医療科学大学)

お問合せ先 JCHO可児とうのう病院 総務企画課(TEL:0574-25-3113)

「輸血」の重要性

私たちの身体には「血をつくる機能」が備わっています。しかし、怪我などで大量出血を起こしたり、病気や薬によって血液をうまくつくることができない場合には外から補わざるをえません。そういった意味で、輸血は医療を根底から支えるものといえます。



「輸血管理」の重要性

その一方で、輸血にはアレルギーや感染症などのリスクがつきまといえます。また、善意の献血によって人々からいただく血液は、社会的資源としても無限ではありません。品質や使用量などの管理をきちんと行うことで、貴重な資源をより安全に扱うことができます。

血液は「生モノ」です。使える期間が限られますし、品質管理がうまくいかないと患者さんに予期せぬことが起こる可能性も考えられます。貴重な血液を常にいい状態で患者さんにお届けできるよう、JCHO可児という病院では2019年6月に「I&A制度（輸血機能評価認定）」の認定を受けました。



より安心な輸血管理を行うための「I&A制度」とは？

「I&A制度」とは、日本輸血・細胞治療学会によって評価・認定される制度です。岐阜県合同輸血委員会からの働きかけを受けて取り組みをスタートし、この6月に認定を受けることができました。岐阜県で認定済みの医療機関は8機関となります（2019年7月現在）。

認定に向けての取り組みによって輸血に対する院内スタッフの意識が向上しましたし、膨大なリストに基づく細かなチェックを行うことで、手順の見直しもできました。以前は気づかなかった部分にまで目が行き届くようになり、よりいっそう安全な輸血を行える体制が整いました。

「I&A制度」は認定を受けたら終わりではありません。5年後の更新に向けて日々精進し、他の医療機関からの見学受け入れなどを積極的に行うことで、より良い輸血管理の輪を広げていきたいと考えています。

輸血は「連携プレー」です

患者さんの安全を守るため、チーム医療で輸血管理に取り組んでいます。安全で適正な輸血を行うために、さまざまな手順を踏んで確認を行っています。

内科部長 吉田 均

医師は、輸血の処方を行う役割を担っています。不必要な輸血をしないよう、患者さんの状態やデータなどをしっかりと見きわめながら基準を守ってオーダーすることを常に心がけています。



寄贈サービス付き私募債「拍手喝債」を活用

ニュース & トピックス vol.26

(株)マサミ様、大垣共立銀行様より 車椅子3台が寄贈されました

7月17日、地元可児市にあります、工作機械設計などを手掛ける株式会社マサミ様と大垣共立銀行様より、寄贈サービス付き私募債「拍手喝債(はくしゅかつさい)」を活用し、車いす3台を可児とうのう病院へ寄贈していただきました。

当院でおこなわれた贈呈式には関係者約20名ほどが出席し、大垣共立銀行可児支店の三矢健二支店長から当院の岩田敬和副院長へ目録が贈呈されました。

(株)マサミの岸野昌人社長からは、「これからも地元貢献をしていきたい。有効活用してほしい。」とのコメントをいただきました。



左から野村看護部長、
大垣共立銀行可児支店 三矢支店長、
株式会社マサミ 岸野社長、
岩田副院長、伊藤副院長、奥村事務部長

新日本フィルハーモニー交響楽団×可児とうのう病院

early summer concert

梅雨真ただ中の6月20日(木)、日本フィルハーモニー交響楽団による美しい演奏が行われました。

可児市文化創造センター(ala)と新日本フィルハーモニー交響楽団との地域拠点契約によるもので、当院では約10年ぶりの開催となりました。

今回は、新日本フィルハーモニー交響楽団よりヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの4人の奏者が訪れ、美しい弦楽四重奏が響き渡りました。演奏された曲は、「リンゴの唄」、「いい日旅立ち」、「川の流れるように」など昭和の名曲から、ノスタルジーを感じさせる「少年時代」、民謡「八木節」などを演奏しました。



観客として集まった患者さんたちは、笑い声や手拍子、曲に合わせて歌うなど、楽しい時間を過ごしました。コンサートは大盛況で、あっという間に予定の時間を過ぎ、大満足の声をたくさんいただきました。

薬剤部ではアルブミンなどの血漿分画製剤(けっしょうぶんかくせいざい)の保管をしているため、品質管理の徹底を心がけています。また、オーダーされた血液や製剤が適切に使われているかの確認も行っています。



薬剤師 高井理恵

検査技師は、輸血の際に体内で起こることを体外で反応させることで患者さんの危険を未然に防ぐ検査や、製剤の管理などを行っています。輸血をオーダーする医師と実際に輸血を行う看護師などさまざまな職種をつなぐことも大切にしています。



認定輸血検査技師 樋口 布抄子

実際に輸血を行うポジションとして、とにかく慎重に取り組んでいます。チェック項目をしっかりと確認し、マニュアルに沿って輸血を行っています。また、患者さんの状態を常に見守り、寄り添うことを心がけています。



学会認定
臨床輸血看護師 尾花 有希子(右側)
看護師 堀江 江三子(左側)

濃飛ファミリークリニック



患者さんに負担の少ない「経鼻内視鏡」「大腸内視鏡」もあります。



医療法人裕和会 濃飛ファミリークリニック

住 所 加茂郡川辺町

西橋井1225-1

電 話 0574-53-3111

診療科 総合内科(消化器・循環器・呼吸器)・外科・整形外科・健診・人間ドック P50台

ハートのこもったチーム医療で地域に愛されるクリニックをめざす濃飛ファミリークリニック。子どもからお年寄りまでの幅広い診療に加え、内視鏡やCT検査をはじめとするさまざまな検査にも対応することで患者さんの環境や事情に合った治療法を選択できるよう努めています。「今後は在宅診療にも力を入れていきたい」と話すのは院長の佐藤先生。困ったことや悩んでいることがあったら、ためらわずに受診できる雰囲気大切にしています。

診療時間	曜日	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	○	／
16:30~19:00	○	○	○	／	○	／	／	／

佐藤 哲也 院長

いつでも安心して
気軽に受診できる
クリニックにしたい。



地域医療機関とJCHO可児とうの病院を結ぶ架け橋

医療連携 Dr スマイルリレー

小林クリニック



スタッフのチームワークの良さも当クリニックの魅力です。



医療法人博雅会 小林クリニック

住 所 加茂郡坂祝町

黒岩字村前383-5

電 話 0574-25-8077

診療科 内科・脳神経外科・整形外科・リハビリテーション科 P有

わかりやすい説明と、患者さんの立場に立った診療を心がける小林クリニック。院長の小林先生は「救急外来のような気持ち」ですべての患者さんを診ることを心がけ、風邪や怪我をはじめ専門の脳神経外科の領域、さらには農作業中の虫刺されや、うつ病・仮面うつ病など心の領域までサポートしています。先生が特に心がけているのが「重大な病気を見逃さない」こと。もう一言を聞くことで、患者さん自身が気付かない隠れた疾患がないか確認しています。

診療時間	曜日	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	○	／
16:00~19:00	○	○	／	○	○	／	／	／

小林 裕志 院長

患者さんの
“もう一言”を聞く姿勢を
大事にしています。



医療連携ひろば

地域の医療機関 (かかりつけ医)

体調不良の際の相談

日常的な病気の治療など

入院や精密検査が必要な時は、病院へ紹介



主治医はふたり

地域のかかりつけ医とJCHO可児とうの病院の医師が連携し合い、ひとりの患者さんに対して共同で継続的な治療を行います。

JCHO 可児とうの病院

精密検査や手術、専門的な治療が必要な外来・入院治療

かかりつけ医の紹介状があれば優先的に診療を受けられる

退院時の相談、在宅医療、かかりつけ医の紹介、転院先の病院や施設などを紹介

JCHO可児とうの病院医療連携室「みどりの窓口」では、連携している地域のかかりつけ医との関係を深め、より充実した地域連携を提供できるように努めてまいります。

JCHO可児とうの病院医療連携室「みどりの窓口」では
様々な心配ごとのご相談をお受けしています
今回は「退院調整会議」について
お話しします！



介護サービスを利用されている方の退院が決まると、事前にご家族を始め、ケアマネやサービス事業所の方にも集ってもらい、退院後の生活に向けての注意事項や課題、希望されるサービスについて話し合いを行います。



病院から退院する時にはできれば元気になって帰っていただくのが一番ですが、退院後も病気や怪我などと上手に付き合っていかなければならないこともあります。そんなとき、医療・介護の専門家が手を取り合い、患者さんご家族も少しでも安心・安全に生活できて、退院後もスムーズにサービスにつながるよう、お手伝いさせていただきます。

個人情報もしっかりと守っていますので、ご安心ください。

調理師が考える
健康食をご家庭で！

JCHO可児とうの病医院の『病院食』は、院内の栄養管理室が献立を考え、調理を行っています。
そのなかで、郷土料理や季節ごとの“旬”を取り入れた特別な献立を、月に一度ご用意しています。「健康的でおいしく、見た目にも食欲をそそる料理を！」と調理師が考えたメニューです。
ぜひ一度つくってみてはいかがでしょうか？

ほうれん草と人参の和風テリーヌ

材料 【2人分】

- | | | |
|------------|-----------------|----------------|
| ●ほうれん草 20g | ●塩 少々(0.6g) | └しょうゆ 2cc |
| ●人参 20g | ●練りごま 4g | └みりん 2cc |
| ●木綿豆腐 80g | ●ソフティアG 1.5g | └ゼラチン 少々(0.2g) |
| ●砂糖 6g | (食材をゼリー状に固めるもの) | └だし汁 10cc |

作りかた

- ① 木綿豆腐はキッチンペーパーにくるみ、1~2時間置き水切りする。
- ② ほうれん草は茹でて適当な大きさに刻む。人参は小さく切り、茹でる。
- ③ ミキサーに①の豆腐、練りごま、砂糖、塩を入れてペースト状の白和えを作る。
- ④ ③の白和えを3等分する。1つに刻んだほうれん草、2つ目に茹でた人参を入れて、再びミキサーにかけて粒がなくなるまでよく混ぜ合わせる。
- ⑤ ほうれん草、人参、何も入れていない白和えのペーストにソフティアGを0.5gずつ入れて混ぜながら加熱する。
- ⑥ タッパーにほうれん草、人参、何も混ぜていない白和えを3層になるよう順に流し入れ、形を整え、冷やす。
- ⑦ ジュレの材料を合わせて、加熱して冷やし固める。
ゼリー状に固まったらスプーンなどで軽く砕く。
- ⑧ ⑦のテリーヌを3層がきれいに見えるように切り分け、ジュレを添える。



栄養管理室スタッフ

白和えをほうれん草、人参を使い3層のテリーヌ風にアレンジしました。白和え本来の風味を残し、練りごまでアクセントをつけています。ゼリー状で滑らかな食感が楽しめるので、飲み込む力が弱い方にもおすすめです。味付けは砂糖、塩で調整して下さい。



じぶんの骨の強さを知っていますか？

定期的な骨密度測定
のススメ

この3月から測定機器が新しくなり、従来70秒かかっていた「骨密度測定」が15秒で測れるようになりました！特に女性は閉経後に骨密度が低下しやすく、骨折のリスクが高まると言われています。定期的な検診で骨の状態を知り、早めのケアを心がけましょう。

「骨密度」って何？

「骨密度」とは骨の強さを表す一つの指標です。骨密度が低下してくると「骨粗しょう症」と言われ、骨折のリスクが高くなります。60代では10人に5人。70代以上では10人に7人が「骨粗しょう症」と言われています。定期的に検診をすることで、骨密度の低下を早期に発見することができます。もし低くなっていけば、食事や運動など生活習慣を見直したり、薬を処方することで対応できます。同じ施設の同じ機械で測ることで、骨密度の変化がよりはっきりとわかり、最適なケアを受けることができます。

実はこわい!? 骨折のリスク

たとえば足の付け根を骨折して手術をすると、1~2週間は寝て過ごすことになります。高齢者の場合、それがきっかけで筋力が弱まり、寝たきりになってしまうこともあります。



定期的に自身の骨密度を知り、必要に応じたケアをすることで、寝たきりになるリスクを減らすことができます。



検査はわずか15秒程度で完了します。前腕部で測定しますが、肘が曲がりにくい方でも簡単に測定できますので、職員にお声がけください。骨の状態に不安がある方や、今まで検査したことのない方は、ぜひ測定してみてくださいね。



主任診療放射線技師 和田 亮一

『骨密度検査』の予約を希望される方は、
健康管理センター(0574-25-3115)まで
お気軽にお問い合わせください。
※当日申込可